

第1章

生産管理概論

1 生産管理の基礎

1 生産管理とは

生産管理とは、JIS（Japanese Industrial Standards：日本工業規格）において「財・サービスの生産に関する管理活動。具体的には、所定の品質 **Q**（Quality）・原価 **C**（Cost）・数量および納期 **D**（Delivery, Due date）で生産するため、または **Q・C・D** に関する最適化を図るため、人、物、金、情報を駆使して、需要予測、生産計画、生産実施、生産統制を行う手続およびその活動（JIS Z8141-1215）」と定義されている。

ある製品を生産するときに、どんなモノを（生産品目）どのような品質で（**Q**）、いくらで（**C**）、いつまでの納期（**D**）に、どのくらいの数量（**D**）生産しなければならないのかを具体的に指示する必要がある。そして生産管理では、①**Q**（Quality：品質）、②**C**（Cost：原価）、③**D**（Delivery：納期・数量を守るための工程）の3要素（まとめて **QCD** という）を管理することが重要となる。なぜならば、顧客の求める **QCD** を満足することで、顧客満足（**CS：Customer Satisfaction**）を高められ、モノの確実な生産・出荷・販売拡大、すなわち事業の発展を図ることができるからである。このために、事業活動において **QCD**（または後出の **PQCDSME**）は製造部門で管理すべき重要な要素である。

管理とは、「経営目的に沿って、人、物、金、情報など様々な資源を最適に計画し、運用し、統制する手続き及びその活動（JIS Z8141-1104）」である。管理とは、**PDCA**（Plan：計画、Do：行動、Check：検証、Action：処置）と言い換えることもできる（⇒PDCA サイクル）。

つまり、

- ① **P**（Plan）： 管理項目と目標値（計画値）を設定する。生産管理なら **QCD**（または **PQCDSME**）について管理項目を設定する。
- ② **D**（Do）： 日々の生産活動を行い、適切な頻度で実績値を測定する。
- ③ **C**（Check）： ②の実績値と①の計画値との差異を把握する。
- ④ **A**（Action）： ③の差異が大きい場合、原因を分析し、必要な場合には処置する。

→①に戻る。場合により管理項目や計画値を見直すこともある。

これらの一連の活動を生産に対して継続的に行うことが、生産管理である。

